

今月の一笑

新たな祝 作りたい

士寿(11) 木寿(18) 甘寿(22)

林寿(36) 茶寿(46) 吾寿(50)

東京都/奥村篤史

皆さん考えることは同じ。

何となく可笑しいとか、何となく変だと思うのは同じ。

今月の一笑は創作四字熟語にとりつかれ、寝ても覚めても漢字が頭から離れなくなった奥村篤史さんの作品です。()の中が祝に相当する年齢です。

実は、以前我がサロンで同じことを考えていた人がいました。

変集鳥「それは曾田さんです」曾田英夫「それは私です」豊田洋代「もうひとつだったのね」神山徹「1才の祝から111才の祝まで、全部作ろうとしましたからね。難しい」奥村篤史「それは知りませんでした」曾田英夫「僕には『サラリーマンことわざ辞典』というライフワークがありますので、それで頑張ります」残り全員「そーだ！」

というのは実は本当の話であります。

その中で11才だけは曾田さんも士寿としていました。十と一で士になるわけです。

木は十と八。甘は十と十と二。林は木がふたつになります。茶は十が三個に八が二個。

吾寿は読んでの通りです。沢山集めて特集をしたいですね。

お便りが来ましたが、これも漢字に関係ありそうな感じです。

①今年あまりに雨がなくてスイカにとっては水禍の年でした。

②夕方の街角、ほろ酔い機嫌のサラリーマン「美声でなくても鼻声でもいいのが媚声だナ」ですって。(これを訓読みで言っていました)

仙台市/藤沢浪子さんからでした。

横浜市/曾根一壽さんからは例会にも参加したいという便りがありましたが、同封の新聞記事の切り抜きも漢字に大いに関係あり、です。面白いので笑介しましょう。

誤変換探しを楽しむ

思わず笑っちゃう

産婆のリズム 焼酎学生

雑誌「EYE・COM」ではワープロやパソコンにまず親んでもらおうと考え、初心者には身近で親しみやすいテーマとして、ワープロの変換ミス=誤変換を探す読者参加のコーナーを新設したら連載開始と同時に珍変換が続々と届いたようだ。

記事の中から幾つか誤変換例を笑介しましょう。()内が正しい変換です。

鼻が柵(花が咲く)・乱場だ(ランバダ)・研究が食えん都市(研究学園都市)・ご実弾(後日談)・助詞構成(女子高生)・味覚人情報(未確認情報)・他国赤軍(多国籍軍)・地上戦会費(地上戦回避)・統一痴呆選(統一地方選)・アンケートは餓鬼(アンケート葉書)

こばなしつくば P・E・K (つくば市/加藤栄一)

一年ぶり登場の『こばなしつくば』です。昨年10月に『伝笑鳩』が4頁になった時に特集をお届けしましたが、新作が送られてきましたので、笑介します。

♡ ナショナルから新製品の広告 ——

「さらにおりこう、ニューロ・ファジー掃除機誕生。明日お掃除するべきかしなくていいか、ランプで教えてくれるお掃除予報モニターがついています」
掃除嫌いの奥さんがこの間買ったというので、近況を聞いたら
「掃除機に使われているの」

♠ 卒業論文ワープロ誤変換集 ——

「両氏の主張は、日本の電灯と近代化がいかに適応したかという点に主眼が置かれている。
「戦後の日本は、配線のショックから精神的な虚脱状態にあり……」
(別に電力会社に就職が内定した学生ではないのですが……)

◇ 「還暦(60歳)の時は赤いチャンチャンコ。では、88歳の時は何色を着るか?」「?」
「ベージュ」

♠ 「もしあのときこうだったら……」ということが、人生にはある。

だから、L i f eの中にi fがある。

♠ ベテラン医師の告白

盆栽師「大事な盆栽が枯れそうになったので二日二晩徹夜でつきっきり、あらゆる手を打ちましたが、枯れました」

武見太郎氏(故人。日本医師会会長)「フーン。人間なら、それくらいすれば、たいがい助かるがなあ」

ここにもワープロ誤変換が出て来ました。新しい笑いの創造に繋がりそうですね。今回は送付分の一部ですので、又いつか笑介と致します。

今月の投稿人 堀江勲さん 「門口泰宣さんの映画の題洒落に真似て作りました」

たいがい貯めた金は無くなる(誰がために鐘は鳴る) いつの間にか
問題タイムズ(モダンタイムズ) 内外共に問題の多い時代です
禁じられたお遊び(禁じられた遊び) 社内恋愛? 不正融資?
姫有利の塔(ひめゆりの塔) 女性の社会進出に力を貸す政党はどこでしょうか?
財産の男(第三の男) 金のある男にはかなわない、なんて言わないで下さい。
シーン(シェーン) ラストシーンが印象的でした。

門口さんに続く人が増えると嬉しいですね。

有名作品の題洒落はいろんな方が取り組んでいます。

一寸したお遊びですが、頭の体操には宜しいと思います。

新聞・雑誌にも投稿出来るし、楽しみは多いと思いますので、是非挑戦してみてください。

頭の体操 創作漢字

花小金井 アッシー作

アッシーというのは奥村篤史さんが自称として使っています。新聞に投稿したり、例会で作品披露の際に使用しています。今後も宜しくお願い致します。

では、そのアッシー作の創作漢字のクイズです。

重ね文字 珍字クイズ

同じ文字を並べたり重ねたりして作った文字。中には三つも四つも使った珍しい漢字が予想外にあります。そこにウソつきアッシーの作りものが混じっています。さあホンモノは？

注 滅多に見ない文字ですからワープロで作りました。微妙な形を味わって判断下さい。

上が読み方で下が意味です。

- | | | |
|------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. <u>林</u> はやし
木が少しある | 14. <u>目目</u> く
キョロキョロする | 25. <u>金金</u> こん
男性自身 |
| 2. <u>森</u> もり
木がかなりある | 15. <u>目目</u> 目
めざとい | 26. <u>金金</u> ぎよく
純金 |
| 3. <u>林林</u> ジャングル
木が沢山ある | 16. <u>雷雷</u> らくらい
突然の雷 | 27. <u>炎</u> ほのお
ちょっと強い火 |
| 4. <u>林林</u> みつりん
木が鬱蒼と茂る | 17. <u>雷雷</u> びょう
いかずち | 28. <u>火火</u> ほのお
かなり強い火 |
| 5. <u>子子</u> ふたご
一卵性・二卵性 | 18. <u>双</u> そう
ふたつ | 29. <u>犬</u> けん
たわむれる |
| 6. <u>子子</u> みつご
三卵性 | 19. <u>又又</u> さん
またまたまた | 30. <u>犬犬</u> ひょう
犬が走る |
| 7. <u>魚</u> ぎよぎよ
ギョギョと驚く | 20. <u>又又</u> てつ
ものが連続する様 | 31. <u>馬</u> そう
競走する |
| 8. <u>魚魚</u> せん
魚の新鮮なこと | 21. <u>風</u> ひゅう
風がひゅうひゅう吹く | 32. <u>馬馬</u> ふう
馬が群れて走る |
| 9. <u>言言</u> けい
争って言う | 22. <u>風風</u> きゅう
驚くほどの風 | 33. <u>貝</u> えい
首飾り |
| 10. <u>言言</u> とう
多く言う | 23. <u>水</u> えい
すいすい泳ぐ | 34. <u>鼻</u> き
ひいき |
| 11. <u>口口</u> こう
くちづけ | 24. <u>水水</u> びょう
広い様 | 35. <u>龍龍</u> てつ
6 4 画 最大画数 |
| 12. <u>口口</u> しな
形あるもの | | |
| 13. <u>口口</u> しゅう
かまびすしい | | |

本物はどれだ？ 下記番号です。
1. 2. 5. 8. 9. 10. 12. 13. 14. 17. 18. 20.
22. 24. 26. 27. 28. 30. 32. 33. 34. 35

サラリーマンことわざ笑辞典 スペシャル (31)～(44)

サロン常連の曾田英夫さんのライフワークは毎月B4判の手書きコピーが例会に持ち込まれ、参加者の皆さんに披露すると同時に添削を受けて改良されています。

現在までの分で未笑介の作品を一挙掲載します。()内が元々のことわざです。

採用人を殺さず人事人をころす(薬人を殺さず医師人を殺す) ▷今はそんなスタイル
口は一口手は二丁(口も八丁手も八丁) ▷限界をわきまえること
口より出せば全社(口より出せば世間) ▷口から出してしまえば、もう世間に広まったもの
と思わねばならないという意味だが、サラリーマン社会では社内全部と考えよう
バブルはじけて負債あり(国破れて山河あり) ▷恋破れてローンあり、もある。
苦は苦の種、楽は楽の種(苦は楽の種、楽は苦の種) ▷そんなものかも知れない

ATMから給与を引き出す(くらがりから牛を引き出す) ▷実感がわからない
臭いものはシュレッターにかけろ(臭いものにはふたをする) ▷秘・極秘のたぐいはシュレ
ッターにかけろのが一番
くさってもサラリーマン(くさっても鯛) ▷出世せず、昇給せず・・・でもサラリーマン
苦しい時の部下頼み(苦しい時の神頼み) ▷自分ができなきゃ部下に頼るしかない
中小企業の社長となるも大企業の窓際族となるなかれ(鶏口となるも牛後となるなかれ)
▷自分のライフスタイルの確立が大切かも

腹芸は身を助ける(芸は身を助ける) ▷ゲイは身を変える、人もいる
女子社員とならねば女子社員は使えぬ(家来とならねば家来は使えぬ) ▷という気持ちにな
らないと上司にはなれない
フロッピーは消えコピーは残る(言葉は消え書籍は残る) ▷ヤバイ文書のフロッピーを消し
ても、コピーは方々に出回っている
給料は家庭のかすがい(子は夫婦のかすがい) ▷家庭円満の第一条件
議事録の先ごしらえ(小舟の宵ごしらえ) ▷余りに手回しが良すぎる

転ばぬ先の転職(転ばぬ先の杖) ▷最近流行っています
昇級はあらゆる困難を征服する(根気はあらゆる困難を征服する) ▷悪い事はしない様に
資産を失えば大損、機密書類を失えば大きな損、信用を失えばまる損(財を失えば大損、友を
失えば大きな損、元気を失えばまる損) ▷不祥事が多すぎる
交際費を以て交わる者、接待尽きて交わり絶つ(財を以て交わる者、財尽きて交わり絶つ
▷日本の現実であります
左遷を御栄転という(サギをカラスという) ▷栄転を左遷と言ひ触らす奴もいる
去る者は追いかけて来る者は引き込む(去る者は追わず来る者は拒まず) ▷人手不足の会社
さわらぬ女にたたなりなし(さわらぬ神にたたなりなし) ▷異議・異論なし

いろいろ出ますが、今後もまだまだ続きます。

先月の参加者達

石井志津夫・岩城元・印南博之・奥村篤史・小田明子・片山満雄・神山徹・曾田英夫・
豊田洋代・長井敏・野本浩一・平井幸雄(たか)・横山朝夫 (以上13名 下線は初参加)

お蔭様で、例会も多数の方が参加してもらえるようになり、様々な笑作品が持ち込まれます。
商売繁盛から笑売繁盛にも笑芸繁盛にも進みそうな勢いです。

初参加の方はそれぞれに何かのご縁で来られるようになり、これも嬉しい限りです。

作品が多いので増頁しないといけないうちも知れませんが、多くても2頁増程度で止めて行きたいと考えています。編集の都合でカットせざるを得ない作品が多くなりますが、カットしないように、ご理解をお願いします。

では、参加者の作品を幾つか笑介します。

石井志津夫 墓ナイ事情

大都市では墓を求めようにも墓不足が深刻。有っても、高い小さい遠いでは墓ナイ夢となりそう。加えて「同じお墓には入りたくない」を望む主婦が増えているそうです。全く、情ナイやら、墓ナイやら。

印南博之 折半いろは歌留多

- 〔い〕 犬も歩けば赤信号／江戸っ子の合点棒に当たる
- 〔ち〕 塵も積もれば島となる／クレジットで買えば山となる
- 〔り〕 律儀者のローン地獄／老後が安心子沢山

(完成の暁には披露させていただきます。楽しみですね)

神山南朝 『如是我聞』

- ★ きのこの栽培を事業化する計画の策定を命じられたKさん、何日も掛かって調査、検討した結果、完璧と思える企画書を作り上げ、部長のところへ持っていくと、「御苦労さん。素晴らしい計画だ。で、いつから実行する？」と聞かれ「ええっ！ 本当に実行するんですか？」と言ってしまった。
- ★★★ 「この間の採用広告の反響はどうだったかね？」
「喜んで下さい。ハガキがごつつう来とります」
「なんだ、たった五通か」
- ★★ さるゴルフ場の16番ティーで、前の組の空く間、長閑に談笑していた。やおら、オーナーのFさんが
「キャディさん、クラブ頂戴」と言うと、続いてKさんがおどけて
「キャディさん、僕にはハート頂戴」
それを聞いたキャディさん、にっこり笑うと
「私には、ダイヤ呉れます？」
- ★★★ 「大統領、クーデターが発生しました」
「エエッ、そんな筈はない。クーデター起こしそうな奴は皆閣僚にしたんだが」

豊田洋代 ああ一年

かの与謝野晶子が詠んだ「ああ五月ふらんすの野は火の色す 君もこくりこ我もこくりこ」

(注. こくりこ — ひなげしのこと) を替えて小川の小町が詠む。

ああ一月三ケ日の空は晴々す 君も仕事休み我も仕事休み

ああ二月山の空気はキラキラす 君もダイヤモンドダスト我もダイヤモンドダスト

ああ三月乙女のはほは桃色す 君も白酒我も白酒

ああ四月童の胸にま白きハンカチ 君もピカピカ我もピカピカ一年生

ああ五月マロニエの下行く人の 姿懐かし名をよんでみる

ああ六月銀座通りは虹の色 君も雨傘我も雨傘

長井敏 この一言

| | | |
|------|--------------------------|--------|
| 展 望 | 俺の明日が分からぬのに共産主義の未来など分かるか | ゴルバチョフ |
| 冬将軍 | 革命は十月に限る | レーニン |
| 三日天下 | せめて十日もたせろ | 明智光秀 |
| 連鎖倒産 | 共産党は一枚岩だ、一緒に倒れる | チャウシェク |

平井幸雄 襲名披露

9月10日が誕生日で49歳(しじゅークセー)になります。従来は某社研究所に勤務し、その研究所内にあった東屋「建久亭」に因んで、建久亭馬家となのっていましたが、今年は嫌臭亭小利幸(けんしゅうていりこう)と名乗ります。馬鹿から少しは利口になりたい。

その平井幸雄さんから、初参加の感想が届きましたので最後に披露させていただきます。

「初々しい気持ちで、初参加、初見参、初仕事(会報の封筒詰め)をさせていただき、皆様の輪の中に入れてさせていただきました。終始、ポンポンと飛び出す皆様のジョーク、ジョダン、シャレ、それに有り余る教養に、私は、まるで鳩が豆鉄砲をくらったよう…私の頭は、興養、驚養、嬌養、狂養で一杯になりました。そして、帰りには腹に、ビールが一杯で……今日酔う。次回には、初作品を持参したいと昼も夜もマジメにジョークを考えています。

.....クセになりそうです。草々」

今月、作品を笑介出来なかった皆さん、済みません。

作品は随時受け付けていますので、下記宛にどんどん送って下さい。待っています。

〒154 東京都世田谷区駒沢1-22-24 F302 野本浩一気付け『伝笑鳩』宛

—お知らせ—

今回は10月25日開催。会場は内神田社会教育会館。
住所：〒101 千代田区内神田2-1-8 TEL03-3256-8447
JR神田駅及び地下鉄大手町駅から徒歩7～8分です。

郵送の為の切手が切れた方には都度連絡していますが、郵送分も含め、カンパも受け付けています。切手が余っているような方はその一部をカンパしても構いません。

| | |
|----------|-------------------------------------|
| 伝笑鳩No.24 | |
| 発行 | 1991.9.27 |
| 変集鳥 | 野本浩一 |
| 変集協力 | 曾田英夫／豊田洋代
神山徹／石井志津夫
横山朝夫／小田明子 |
| 発行所 | 同巢会ジョークサロン |